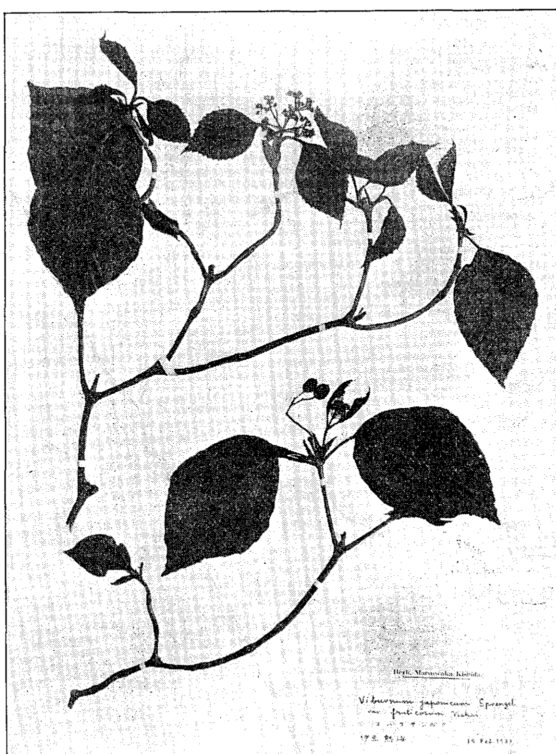
sum NAKAI ガ生エテ居ルノヲ採ツタ。本種ハ中井博士ニヨツテ八丈島ニ産スルコトヲ知ラレタ以外マダ他ニ産地ヲ得ナイモノデ、余ノ採品モ中井先生ニ致シテソノ教示ヲ得テ然ルヲ知ツタ。

熱海ノハアマリ發育ハヨクナイ。數モアマリ多クハナイ。2,3 株位ハアル。下ノ道ヲ自動車ガトホルノデ埃マミレニナツテ、崖カラ下ガルヨウニシテ、纔ニソノ枝端ヲ扛起シテ、紅イ殘果ヲツケテ居タガ、暖イ熱海デハ新シイ花序ガノビテ、後10日モシタラ花ガ見ラレルカト思ハレル位ニナツテ居タ。



第1圖　こはくさんぼく *Viburnum japonicum* var. *fruticosum* NAKAI (2月19日伊豆熱海採)

花瓣ノナイげんかいつつじ

竹中　要

Y. TAKENAKA: *Rhododendron mucronulatum* TURCZ. var. *siliatum* NAKAI without petals.

朝鮮ノ春ト云フト内地ノ東北地方ノ春ト同ジ位デ4月ノ終ニ染井吉野ガ開花スルノデアルカラ、先ヅ4月末カラ5月初メデアルガ（京城ヲ中心ニシテ南鮮地方ハ約半月早ク北鮮ハ約半月遲イ）ソノ春ノ野ヲ飾ルモノニえひめあやめ・きんかきつ・げんかいつつじ・くろふねつつじ等ガアル。前二者ハ四五寸ノ高サデ夫々紫ト黃ノ可憐ナ花ヲツケルノデ著シイ。後二者ハ丸禿ノ山ニ或ハ半禿ノ松

林ノ下ニ一面ニ發生シテ高サ 1〜2 尺ノ花園ヲナス。此等ノ植物ハ又揃モ揃ツテ北ノ方カラ朝鮮半島ヲ南下シテ、殊ニえひめあやめ・げんかいつつじハ其ノ名ヲ九州四國ノ地名ニ依ツテヰル如ク、內地ニ迄侵入シテヰル。其ノげんかいつつじニ時々面白イモノガ見付カル。一體石南科ノ植物ニハ其ノ花ノ構造ニ種々ノ變化性ヲ示スモノガ多イガ、例ヘバ吾妻山ノ八重白山石南、八ケ岳ノ八重黃花石南ノ如キハ野生種ニ現レタ最モ著シイモノデアル。此ノ內前者ハ一重ノ花冠ノ內ニ尙一ツノ花冠ヲ生ジタ場合デ、後者ハ雄蘂ガ花瓣ニ變ジタモノデアル。此ノ二ツノ型ハ石南科ノ園藝品殊ニ杜鵑花(サツキ)ニ屢々見ルモノデアル。所デ此レカラ述ベヤウト云フノハ其等トハ大變違ツタ花瓣ノナイげんかいつつじデアル。



第 1 圖 普通ノげんかいつつじ

第1圖ハげんかいつつじ *Rhododendcon mucronulatum* TURCZ. var. *siliatum* NAKAI ノ普通ノ型デアツテ極メテ小サナ蕚ト先端ガ五裂シタ花冠トカラナル花被ヲ持ツテヰル。第2圖ハ花冠ノナイ小サナ蕚ノミカラナル花被ヲ持ツタげんかいつつじデアル。此ノ株ハ野生シテヰルモノデ每年此ノ樣ナ花ヲ開ク。

一體此ンナ花ガドウシテ出來タカ、先ヅ花ノ起源ヲ考ヘテ見ルト、ドノ敎科書ニモ、花ハ胞子葉ノ集團デアリ、雄蘂ハ各一個ノ、雌蘂ハ一個乃至數個ノ胞子葉カラナル。ソシテ花瓣、蕚ハ胞子葉カラ來タカ、普通葉カラ來タカト云フコトハ問題デ、恐ラク各種類ニ依ツテ夫々違フデアラウト云フ意見ガ多イ。**ゲーテ**ノ葉ノ變態論以來花ノ器官ガ葉カラ變ツタモノデアルト云フ考ハ一般的ニ認メラレテヰル。又其後ノ澤山ノ事實カラシテ、花ノ各器官相互間並葉トノ間ニ於テ可逆的關係ガ認メラレテ來テヰル。此ノ樣ナ考カラ見ルト、げんかいつ

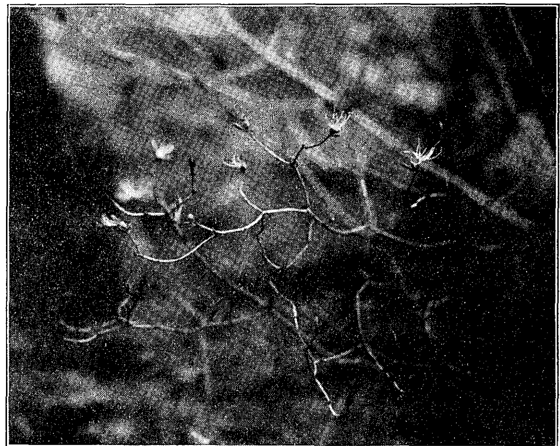
つじノ此ノ奇拔ナ花ハ花瓣ヲ失ツテ、ソノ代リニ雄蕋ヲ增シタノデハアルマイカ、即チ普通多ク見ラレル雄蕋ノ花瓣化ノ反對ヲ行クモノデハアルマイカ。其處デ次ニげんかいつつじ二品種間ノ雄蕋數ヲ比較シテ見ル。

普通ノげんかいつつじ		花冠ナキげんかいつつじ	
雄蕋數	測定花數	雄蕋數	測定花數
10	7	15	1
9	5	14	1
		13	4
		12	3



第 2 圖　花冠ノナイげんかいつつじ

即チソノ算術平均デハ普通ノげんかいつつじノ雄蕋數ハ 9、6 本デ、花冠ナキけんかいつつじデハ 13 本デアル。之ニ依ツテ見ルト開キハ 3、4 本デアル。今若シげんかいつつじノ花冠ガ、先端ガ普通片ニ切レテヲリ、小蕚片ガ5片アリ、近親ナル種類ノ花器ガ5ノ倍數デ出來テヰルト云フ樣ナ理由カラ元來5花瓣デアルト考ヘルナラバ、上述ノ開キハ5デアルコトガ望マシイ。上ノ觀察ニ於テハ花ハ新鮮ナモノヲ選ンデ雄蕋ノ旣ニ脫落シタモノヲ計算スル愚ヲセナイ樣ニ考ヘタツモリデアルガ、或ハ中ニハ脫落シタモノガアツタカモシレナイ。然シ又普通ノげんかいつつじノ雄蕋數ガ完全ナル5ノ倍數デナイト云フコトハ5花瓣ヲ絕對的ナモノトシナイ、多少融通



第 3 圖　野生ノ花冠ノナイげんかいつつじ

ノキクモノデアルト云フ風ニモ考ヘサセラレル。ソンナ考ヲ入レテ見直スト矢張花冠ノ無イげんかいつつじハ、ソノ花瓣ガ雄蕋ニ變ツタノデアルト云ヘヤウ。何レニシテモ珍ラシイつつじデアルカラ此處ニ御紹介シテヲク。

栃木縣植物ノ粹

栃木縣師範學校　關　本　平　八

H. Sekimoto: Some noteworthy Plants of Totigi-prefecture

我ガ栃木縣ハ本邦植物ノ分布上、北緯 38° ノ所謂北部ニ近接シ、從ツテ本邦中南部ノ植物ナランニハ北限地？ノ意味ガアリ北部ノ植物ナランニハ正ニ南限地？ノ意味ガ深イ。余是等南限地、北限地ノ分布上興味アル植物ノ他、縣下1〜2箇所ノミニ産スル稀有植物及最近發見サレタ植物ノ主ナル種ヲ合セ、計50種ヲ選定シテ、「栃木縣植物ノ粹」ト題シ玆ニ是ヲ記述スル。本邦植物ノ分布上讀者諸君ニ多少トモ御參考ニナラバ幸甚ノ至リデ、併セテ御批正ヲ仰グ次第デアル。（昭和八年十一月十日）

I.　縣下發見ノ新植物

1.　はひどぢやうつなぎ（禾本科） *Glyceria viridis* Honda

大正二年河内郡本鄕村磯川濕地ニ發見。其ノ後鹽谷郡三依村上三依ニ採集。

2.　まめすげ（莎草科） *Carex pudica* Honda

大正二年河内郡本鄕村磯川濕地ニ發見。宇都宮市附近其ノ他縣下廣ク分布。

3.　ほそばしらやまぎく（菊科） *Aster Sekimotoana* Makino

大正六年河内郡國本村ニ採集シ、其ノ後昭和五年田原村ニ採集。宇都宮市、河内郡姿川村、大澤村、芳賀郡水橋村東高橋等ニ採集ス。

4.　ひめざぜんさう（天南星科） *Spathyema nipponica* Makino

大正七年河内郡國本村新里ニ發見。河内郡城山村、姿川村、篠井村、大澤村、富屋村豐鄕村、上都賀郡落合村等ニ見出ス。

5.　くりやまはゝこ（菊科） *Anaphalis viscosisvima* Honda

昭和二年八月五日鹽谷郡栗山村日向ニ發見。岸壁ニ着生莖葉粘毛アリ、秋季枯レテ砂糖臭ヲ發ス。

6.　ひめなんばんぎせる（はまうつぼ科） *Aeginetia Sekimotoana* Makino